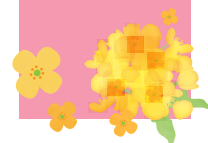


nagasaki nursing association



発行所:  
公益社団法人 長崎県看護協会  
〒854-0072  
長崎県諫早市永昌町23番6号  
TEL (0957)49-8050(代)  
FAX (0957)49-8056  
発行責任者:日野出悦子  
印刷:株式会社クラフィット

新年度のごあいさつ	2
令和8年度三職能委員会活動計画	3
地区支部だより	4
かがやけ看護職! ママ&パパ応援セミナー 報告	6
シンポジウム「小児の訪問看護～小児を受け持つためのアイデアと実践～」報告	7
保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント及び相談会 報告	8
研修情報	9
病院紹介 一般社団法人 是真会 長崎リハビリテーション病院	10



理念

地域リハビリテーションを推進し、  
地域に貢献する

長崎リハビリテーション病院  
一般社団法人 是真会

会員様限定  
プレゼント企画  
マックカード  
1,000円分 **5名様**  
詳しくはP.8参照



# 新年度のごあいさつ

公益社団法人 長崎県看護協会  
会長 日野出 悦子



会員の皆様におかれましては、日頃から、本協会の事業推進にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

2026年度がスタートいたしました。4月は、皆さま方の職場や家庭において、一年間の中でも変化の多い月ではないでしょうか。特に、新しく採用された方や所属組織内外に異動された方がたは、期待と不安がいっぱいだと思います。また、職場では、これまで迎えるための計画や準備等で、日々、多忙であったことと推察いたします。それぞれの場で働く看護職の人材育成に、会員の皆様のご尽力いただいていること大変感謝いたします。

さて、昨年、日本看護協会では、社会が大きな転換期を迎える2040年に向けて「看護の将来ビジョン2040～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」を公表しました。昨今の社会情勢、医療提供体制の変化等を踏まえ、人々が生涯、その人らしく生きることを支える看護の本質的な使命の再確認ともいえるビジョンの発信です。（「看護の将来ビジョン2040」の詳細は、日本看護協会のホームページでご確認ください）

国においても、2040年を見据えた様々な政策が進められています。特に2030年まで本格化する人口減少や頻発する自然災害への対応については、経済・財政・社会保障の持続可能性の確保に力が注がれ、また、新たな地域医療構想のもと、看護においては、一層の看護DXの現場への浸透とともに、保健・医療・介護の切れ目ない多職種との連携や協働の充実が求められているところです。そのためには、医療従事者が継続可能な働き方を確保することが急務であり、その基盤となるものは「人」です。確実により良い医療・看護の提供が行われるためには、健康で安全に充実感を持って働ける看護職一人ひとりがウェルビーイング\*であることが重要であります。

この実現に向け、日本看護協会は2026年度からの重点施策として、1.看護職一人ひとりのウェルビーイングの向上、2.持続可能な看護提供体制の構築、3.質の高い看護実践のための教育制度改革の実現、4.より質の高い自律性を持った専門職としての活躍、5.地域における看護の拠点の確保、の以上5点を新たに掲げ進めていくこととなりました。

本協会としては、日本看護協会の重点施策に沿って、重点事業として、1.看護職一人ひとりのウェルビーイングの向上、2.持続可能な看護提供体制の構築、3.より質の高い自律性を持った専門職としての活躍、4.地域における看護の拠点の確保についての4点を掲げ、事業を展開していきます。また、公益社団法人長崎県看護協会として、強固な地盤づくりと明るい未来につながるためにも、引き続き、組織基盤の強化を念頭におき、理事会や支部と連携して活動してまいります。

今年度も、会員の皆様のご支援とご協力を得ながら、重点目標に沿って、協会事業はもとより、県委託・補助事業、日本看護協会委託事業等、多くの事業等に取り組んでいきます。また、引き続き会員の皆様の声に耳を傾けながら、課題解決に向けて取り組んでまいりますので、ご支援とご協力の程、どうぞ、よろしくお願いいたします。

令和8年4月

※ウェルビーイングとは：身体的・精神的・社会的に「満たされたよい状態」にあることを指す概念

# 令和8年度 三職能委員会活動計画



## 保健師職能委員会

保健師職能委員長 稗園砂千子

保健師は、行政、産業分野、医療分野等と幅広い分野で活動しており、保健師職能委員会は、委員長以下 県、市町、企業、総合病院、健康事業団、大学の9人の委員で構成しています。毎月1回の委員会は、働く組織の違う委員が、それぞれの組織・職場で保健師が直面する健康課題について情報共有し、解決に向けた取り組みを一緒に考える場となっています。

保健師職能委員会の主な活動として今年度は、

1. 2040年を見据えた三職能合同交流会の開催(6月20日)
2. 保健師ネットワーク会議の開催(8月22日)
3. 保健師交流集会の開催(11月28日) ※新任期保健師交流会を兼ねる
4. 長崎県職場の健康づくり応援事業への協力
5. 保健師の魅力発信イベントへの協力を計画しています。

看護の将来ビジョンには、2040年に向けて看護がめざすものや看護職が活躍する基盤となるものが示されていますが、保健師職能委員会は様々な職種で働く保健師が集まる強みを生かし、相互に連携しながら、長崎における保健師活動の将来を考え、小さな課題から取り組んでいきます。皆様どうぞご参加ください。

## 助産師職能委員会

助産師職能委員長 山本 直子

助産師職能委員会は、病院、教育分野に勤務する委員8名で活動しています。

助産師は母子保健と助産の専門職としての人の誕生から老年までのさまざまな健康課題にかかわっています。そのため、母子のみならず、女性の生涯における性と生殖にかかわる健康相談や教育活動を通して家族や地域社会に広く貢献したいと考えております。

本年度、助産師職能委員会では、さらなる助産師としての質の向上と助産師活動の啓蒙活動のために、医療施設、地域での母子保健活動の実施と支援体制構築に向け以下のような活動を計画しています。

- ・交流会1  
「2,3次医療機関での母乳栄養支援」9月6日(日)開催
  - ・交流会2  
「出産後も継続支援が必要な母子の支援について市町の取り組みを学ぶ～保健師と看護師・助産師の連携～」11月1日(日)開催
  - ・地域住民を対象とした母子保健活動「国際助産師の日イベント」みらい長崎ココウオークイベント会場にて7月12日(日)開催
  - ・性教育セミナーの開催(県内小学校、中学校、高校、関連施設)
- 内容の詳細については、随時お知らせします。皆様のご参加をお待ちしています。

## 看護師職能委員会

看護師職能委員長 峯 麻紀子

看護師職能委員会は、I(病院領域)・II(介護・福祉関係施設・在宅領域)の委員13名で活動しています。2026年度は、看護師ひとり一人のウェルビーイング向上を目指し、看護の原点に立ち返り“やりがい”を感じられる研修や、より働きやすい環境を整えるための実態調査を企画しています。

研修の一つ目は、8/8に開催する「ユマニチュードで“ケアが変わる”～患者とのより良い関係作りのためにユマニチュードの基本を学ぼう～」で、ユマニチュード認定インストラクターを講師に迎え、「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つの柱を通じた人間らしい関わりのケア技法を学びます。座学に加え実演で学べる企画です。

二つ目は、11/14にオンラインで開催する「ナラティブ～患者に寄り添った医療をナラティブアプローチの視点から考える～」で、講師は昨年の三職能合同交流会で大好評だった臨床倫理士金城隆展先生の待望の再登壇です。

また、より働きやすい環境を整えるために「看護職員が直面しているペイシメントハラスメント及び組織的対策の実態調査」を予定しています。看護師職能委員会では、看護現場における情報収集・課題発見・意見集約などを行い、情報発信と課題解決に向けて取り組んでいますので、皆様のご参加・ご意見をお待ちしています。



GOOD  
JOB!

## 地区支部だより

各支部の活動や  
お知らせをお届けします

## 県南支部

支部長 糟谷 操子

暖かな春の日差しが嬉しい季節となりました。

令和7年度の支部事業は、会員の皆様のご協力により予定通り開催できましたこと、心より感謝申し上げます。今年度後半の事業として、1月24日に地域包括ケアシステムを深化・推進するための多職種連携をテーマに看看連携交流会を行いました。初めて「長崎市包括ケアまちなかラウンジ」と共同開催し、50名を超える多職種の皆様にご参加いただくことができました。2月14日には看護の連携と情報共有をテーマに病院・施設・在宅看護職員交流会を開催し、職種を超えた活発な意見交換が行われ、切れ目のない看護提供に必要な情報を考える機会となりました。

“病院”から“在宅”への時代を迎え、地域でよりよく暮らすためには独居や介護力不足により支援を必要とする高齢患者も多くいます。地域で安心して暮らすための医療職の役割を再確認する場となりました。

今年度も看護協会の重点目標達成に向けて支部事業を計画してまいります。よろしくお願い申し上げます。



▲看看連携交流会  
グループワークの様子

## 県央支部

支部長 中尾 理恵子

新たに新入者を迎えられ、活気のある職場になっておられることと思います。令和7年12月13日(土)に県央支部研修交流会を開催しました。亀井紗織先生に札幌からZoomでご講演を頂きました。テーマは「『看護で伸ばせる命がある』エナジーサイクルを回せ」でした。参加者は60名。ご講演での「経口摂取が出来ないとみなされた方のなんと7割が食べるようになった」「看護には生命を左右するチカラがある、まだある寿命がケア不足で失われています」などは私達受講者に衝撃を与えました。令和8年1月31日は「多職種連携会議」を実施しました。参加者は70名。超重症者の在宅での看取りを叶えた症例の3職種からの連携報告でした。協力が得にくいご家族対応に倫理的葛藤を抱えながらも希望の在宅での看取りを叶え、ご家族からとても感謝されていました。この報告後、GWでは各自が自施設の終末看護の状況を振り返ることが出来、好評でした。今年度も県央支部は質の高い看護の本質の実践に向けた交流会を開催していきます。



## 県北支部

支部長 橋本 康代

令和7年11月22日(土)に「看護職の生涯学習ガイドラインについて」をテーマに、施設管理者交流会を開催しました。今回は看護部長や副部長だけでなく、看護師長や看護主任、学校教員など、より看護の現場で教育を企画・実践している幅広い立場の方20名が参加されました。長崎県看護協会の木下副会長のご講義と「看護職の生涯学習ガイドライン」のコンテンツ視聴を行い、その後のグループワーク学習では活発な意見交換が行われ、「施設ごとに同じような悩みや課題があり、工夫されていることを知り、前向きに生涯学習への支援を行っていかねばならないと感じることができた」「ざっくばらんと交流ができた」など、前向きな感想が聞かれました。

生涯学習を行うことの大切さと、それを支えることの難しさ、重要性を改めて学ぶことができました。また、他施設の看護師との情報交換や、悩みの共有の場となり、交流の重要性を改めて感じる機会となりました。



## 下五島支部 支部長 江口 美子

令和7年度の下五島支部活動では、看護協会まちの保健室を例年より2回多く開催することができました。ごとう農業協同組合主催の『農業まつり』では、血圧測定後に食品の塩分摂取量を計測体験して健康相談を行いました。普段の食事で摂取する塩分量を実際に見ながら食生活を振り返る機会にさせていただけたかと思います。長崎県五島中央病院主催の『健康まつり』では、地元の看護学生と共に血圧測定と健康相談を行いました。健康相談しながらも、地域の方からは看護の担い手となる学生へ今後の期待と励ましのエールをいただきました。若い世代とともに「看護協会まちの保健室」を実施することができ、大変貴重な時間となりました。

令和8年度の活動計画としては、5月9日に看護の日記念事業を開催を予定しています。9月5日には離島間通通信交流会として、テーマ「病院・施設・在宅をつなぐ感染対策の基本～地域で守る標準予防策～」を感染管理認定看護師より講演いただきます。また、10月3日に下五島支部交流会として、テーマ「在宅者の薬剤管理～看護職に伝えたい最近の薬の注意点～」を薬剤師より講演予定としています。ほか例年同様に、トライアスロン、つばきマラソンなどの救護にも参加していきたいと思ひます。地域住民の方々には、日頃より下五島支部の看護協会活動へのご理解に感謝いたします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 上五島支部 支部長 法村 円美

海のきらめきと優しい春風に包まれ新年度がスタートしました。気持ちも新たにそれぞれの場所で看護に向き合っておられることと思ひます。上五島でも、離島という環境の中で地域住民に寄り添いながら丁寧に向き合い、継続して支える看護を目指し活動しております。今年度も、研修会やイベント等を通して、学びとつながりを大切にしながら看護の魅力を発信し、地域の皆様の健康と安心をサポートして参りたいと思っております。引き続き、支部活動へのご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

\*令和8年度の活動の一部をご紹介します\*

4/26(日):「看護の日イベント」開催!

6月頃(未定):「上五島病院フェスタ」で看護の魅力をアピール!

7月:上五島支部交流会「認知症ケア研修」!

8月:次世代を担う高校生を対象に「ふれあい看護体験」!

など、お気軽にお越しください。



## 壱岐支部 支部長 末永 美幸

木々の緑が日に日に濃くなり、生命の息吹を感じる季節となりました。

壱岐支部では島内医療福祉研究発表会が1月25日に開催され、看護協会としても参加をしています。発表は日々の実践に根ざした学びも多く、今後の交流研修会、地域との連携への取り組みに活かしていきたいと感じました。

5月は『看護の日 記念イベント』、7月は支部交流会『フットケア』について研修会を予定しています。壱岐市は65歳以上の高齢化率が38.7%となり、高齢者、介護施設利用者等、足のトラブル相談も増加しております。皆様、是非支部交流研修会へご参加ください。今後も様々な支部活動に取り組んでまいりますのでよろしくお願ひ致します。



## 対馬支部 支部長 福島 利恵

昨年10月26日(日)対馬市交流センターで「対馬食育フェスタ」が開催されました。この催しは、子どもから高齢者まで、家庭における食のあり方を考える機会とし、地域での健康づくりのための食育を推進することを目的としています。栄養士会や薬剤師会、学校給食研究会、保健所、漁協や農協などが参加しました。

対馬支部として「看護協会まちの保健室」ブースを設け、健康相談や血圧測定等を行いました。初めて、まちの保健室に参加した会員もいて、訪れた市民の方々とお話しできて楽しかったと、報告してくれました。病院以外で、看護師が市民と関わることのできる貴重な機会ですので、これからも継続していきたいと思ひます。



かがやけ  
看護職!

令和7年度基盤強化事業

# ママ&パパ応援セミナー ご参加ありがとうございました!

日時 令和7年12月3日(水)

場所 諫早市立たらみ図書館

本協会では、令和7年度、新しい取り組みとして、妊娠中、育児休業中、産後パパ育児休業取得予定者等の看護職を対象に、子育てと仕事の両立や職場復帰に対する不安や悩み等を話せるセミナーを開催し、5組のお子様連れの看護職ママの参加がありました。

皆さんでお話して、マッサージを受けて、ちょっと気になることも相談できて、楽しい時間を過ごすことができました。ご参加ありがとうございました。

これから職場復帰をされる看護職の皆さんは、多くの不安もあるかと思いますが、仕事と子育ての両立には、周囲の理解と協力が必須です。一人で抱え込まず、周囲に相談しながら解決していくことで、全ての看護職が安心して働ける環境づくりに繋がるものと思います。

ご協力いただいた皆さんありがとうございました!

先輩ママンース体験談 長崎大学病院  
助産師 松田知芳さん

子育て相談



管理者からのエール  
ナースセンター部長  
福田妙美



ハンドマッサージ  
ボランティア団体いよしの手



産前産後リハビリ 長崎百合野病院  
理学療法士 下田真太郎さん



お土産



## 編集後記

参加者同士が思いを共有し、悩みを相談しあう温かな時間となりました。各ブース大人気で参加してよかったとの声がありました。

今後開催が続くことを楽しみにしています。

## シンポジウム

# 「小児の訪問看護～小児を受け持つためのアイデアと実践～」 開催しました

### 令和7年度長崎県医療的ケアが必要な在宅小児等に対する支援事業

令和8年2月28日（土）、ながさき看護センターにおいてハイブリッドで開催し、会場に26名、オンライン参加36名の計62名が参加しました。

本協会では、平成30年度から長崎県の委託により「医療的ケアが必要な在宅小児等に対する支援事業」を実施しています。今回は、小児の訪問看護～小児を受け持つためのアイデアと実践～とし、長崎県福祉保健部医療政策課担当者からこれまでの事業の報告と、座長に長崎県医療的ケア児支援センター長の岡田雅彦氏の進行で、3名のシンポジストの発表の後、意見交換、グループワークを行いました。

シンポジストの山本直子氏から医療的ケア児の母親の就労の現状や母親の思いと、医療的ケア児支援未経験の訪問看護師向けの研修材料（eラーニング）を開発し、小児の対応ができる訪問看護師のすそ野を広げることが重要であるとの発表をいただきました。野口早世氏からNICUでの看護職の取り組みやNICUから地域へ送り出す側の病院側の思いと、「顔の見える関係づくり」「訪問看護の重要性」「生活者としての視点」が大切であると発表をいただきました。西原イサ子氏からは実際に小児を受け入れた3事例の紹介から、小児の訪問看護の苦手意識を克服するための取り組み（小児や子育てに関する研修への参加、母親を理解しようとする姿勢、関係職種との連携）について発表をいただきました。

グループワークでは、会場の参加者で「小児を受け持つために、今実践していること。これから実践したいこと。」とし、交流を行い、活発な意見交換がなされていました。

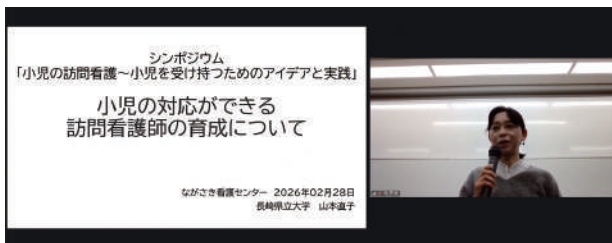
本協会では、今後も県の委託により本事業を継続して実施予定です。令和8年度研修については、ホームページに掲載していきますので、是非チェックしてください。



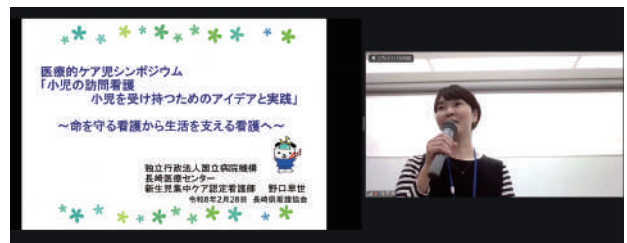
▲長崎県福祉保健部医療政策課 荒木 大輔 氏



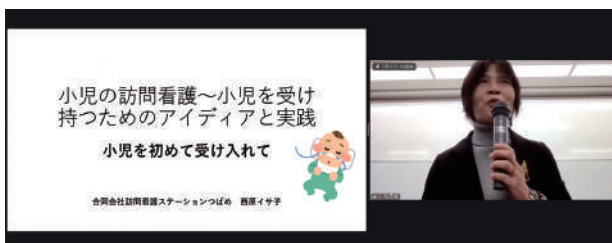
▲座長 長崎県医療的ケア児支援センター センター長 岡田 雅彦 氏



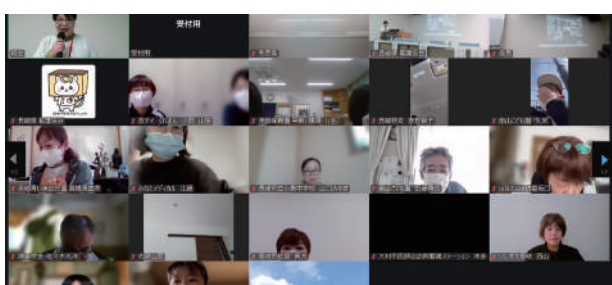
▲シンポジスト 長崎県立大学看護栄養学部看護学科 教授 山本 直子 氏



▲独立行政法人国立病院機構長崎医療センター 副看護師長 野口 早世 氏



▲合同会社訪問看護ステーションつばめ 管理者 西原 イサ子 氏



## 報告

# 「保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント及び相談会」

日時

令和8年2月14日(土)  
13:00~16:30

場所

ながさき看護センター 4階  
大会議室

地域保健・医療の専門職として長崎県内の様々な場所で活躍し、住民の健康を支える保健師の活動内容や魅力について、現場の保健師がお伝えするイベントを開催しました。

長崎県、13市町(長崎市、佐世保市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、西海市、雲仙市、長与町、東彼杵町、小値賀町、新上五島町)、企業からはSUMCO TECHXIV株式会社様のご協力を得て、地域の中で活躍する保健師の魅力を伝えていただきました。保健師は住民の健康と生活にかかわる活動をしていることが参加者の看護学生や大学院生に伝わったと思います。

参加者は30名と昨年度より多く、積極的に現場の保健師へ質問される学生さんが印象的でした。保健師を目指す看護学生、大学院生にとって、保健師の魅力を知らせていただく良い機会となりました。各自治体及び企業の職員の皆様、ご協力ありがとうございました。



## 会員様限定

プレゼント企画

### 会報 nna の感想募集!

会報nna98号への感想を募集します!今号の中で一番印象に残った項目をお聞かせください。感想をお寄せいただいた方の中から抽選で5名様に、マックカード1000円分をプレゼントします。

**応募締切: 6月30日(火)**

※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

二次元コードよりフォームにアクセスをお願いします。皆様の感想は、今後の会報作成に役立ててまいります。ご応募お待ちしております!

問い合わせ

長崎県看護協会総務部  
TEL:0957-49-8050



### 会報 nna への投稿募集!

会員の皆さんの声を会報 nna に投稿してみませんか?

広報出版委員会では、会員の皆様のお便りを募集しています。

投稿いただいた方の中から抽選で1名様に、かんごちゃんのポーチをプレゼントします。  
※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



**テーマ: お気に入りの写真**

写真の内容は問いません。とっておきの一枚をぜひご紹介ください!

[掲載紙] 会報nna 1月、5月、9月発行

[投稿方法]

二次元コードよりメールフォームにアクセス  
→メール作成画面はこちらをクリック

必要事項をご記入いただき、写真を添付して、投稿をお願いいたします。

※メール本文の文字が化ける場合は、ページ内の別リンク(文字が化ける場合はこちらから)よりアクセスしてください。



# 研修情報

2026年7月～9月の研修情報をお知らせします。研修の詳細とお申込みについては、マナブルをご確認ください。年間を通して随時申し込めるようになりました。



月	研修No.	研修名	開催期間	申込期間
7月	2604	研究計画書を作ってみよう (3日間コース) ～看護研究の基礎から学ぶ～	①7/3 (金) ②7/17 (金) ③8/7 (金)	開催日の 1か月前まで
	2605	リニューアル 看護研究の基礎的知識 (研究計画書を作ってみよう研修 公開)	7/3 (金)	
	2608	看護師のキャリア支援～自己の看護人生を描く～	7/17 (金)	
	2609	職業感染防止の実際・侵襲的な器具や処置の感染予防対策 (感染管理研修公開)	7/22 (水)	
8月	2610	災害時の院内対応を学ぼう!	8/18 (火)	
	2611	現場に役立つ褥瘡ケア ～最新知識に基づいたケアの実際～	8/19 (水)	
	2612	リニューアル フィジカルアセスメント～呼吸・循環～	8/21 (金)	
	2613	認知症高齢者の看護実践に必要な知識【第1回】 ※「認知症患者のアセスメントや看護方法等に関する適切な研修」に対応	【会場研修】8/27 (木) (オンデマンド受講期間は 受講者に提示)	
9月	2614	リニューアル 看護師だからできる人材育成	9/3 (木)	
	2615	リニューアル 人材育成に活かすコーチングスキル	9/4 (金)	
	2616	リニューアル 食べるを支える摂食嚥下支援	9/8 (火)	
	2617	目からウロコのクスリ問答 ～薬の最新知識と安全な与薬管理～	9/11 (金)	
	2618	身体拘束ゼロへの挑戦 ～VRで患者の内面理解～	9/12 (土)	
	2619	患者の急変予測と急変対応 ～患者の様子が”何かおかしい”に気づく～	9/16 (水)	
	2620	New フィジカルアセスメント～脳神経系～	9/29 (火)	
	2621	リニューアル 医療・看護における倫理 ～倫理的問題とその対処方法～	9/30 (水)	

## 長崎県看護協会公式LINE

- 公式LINEでは
- 研修会・イベントの開催について
- 会報、協会だより発行のお知らせ
- 会員福利厚生について
- など、様々な情報を定期的に配信しています!



友だちとうろく  
お願いね♡



▶ともだち登録はコチラから



# 病院紹介

Hospital introduction

一般社団法人 是真会

## 長崎リハビリテーション病院



当院は、全床回復期リハビリテーション病棟、143床の専門病院です。重度患者であっても「生活の再構築」をあきらめず、医師・看護師・介護福祉士・リハビリ専門職・社会福祉士・管理栄養士・歯科衛生士で患者を担当し、多職種が一丸となって在宅復帰を目指すリハビリテーション医療を提供しています。その中で、看護師は健康状態の回復だけでなく、「その人らしさを支える看護」をめざし、食事は食堂で、排泄はトイレで、洗面は洗面所で身だしなみを整えるなど日々のケアを通して日常生活動作の向上や社会復帰を目指す患者に寄り添い、機能回復を最大限に引き出すために、個別性に合わせたアプローチを行っています。

同法人の在宅支援リハビリテーションセンターぎんやには居宅介護支援事業所、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションがあります。高齢者サロンの運営サポートなど地域活動へも積極的に参画し、生活期まで切れ目のない支援を行うことが大きな強みです。また、地域包括ケアの中核として、在宅生活を見据えた家族指導や、入院中に地域の医療機関や介護事業所と家庭訪問へ行き合同でカンファレンスを開催し、退院後も安心して暮らせる環境づくりを支えることで、患者と家族の「その先の生活」に寄り添う病院を目指しています。



全職種が病棟配属です。新人研修も前期は全職種合同で参加し、後期は看護師のみの研修があります



長崎市の中心部にあり、屋上から稲佐山などが見え、眺めが良い場所に病院があります



左：観光地の「眼鏡橋」まで徒歩3分。長崎ランタンフェスティバルの会場が近いです。  
右：長崎くんちの庭先回り。患者さんがお神輿や山車が来るのをたのしみにされています



制服で職種が分かれています。いろいろな職種の同僚と支えあっています。



赤い制服が看護師です先輩が温かく指導してくれます



病院ホームページ



病院Instagram